



シルバー のしろ

第50号

発行日 平成31年1月1日
発行所 公益社団法人能代市
シルバー人材センター
啓発広報委員会
能代市青葉町5-37
電話(0185)54-4688
ファックス兼用54-6037

題字：小林重孝(前理事長)

謹賀新年

雅見百念のうら向きゆるる恥らひに
之上乃婦子



春の妖精 チゴユリ (八峰町)

撮影：小林正之

【理事長】

小林正之(啓発広報委員)

【副理事長】

佐藤佳治(安全推進委員)

【常務理事】

浅野典幸(事務局長)

【理事】

奥村孝男(就業開発委員)

岸部藤一(就業開発委員)

伊藤正範(安全推進委員)

佐藤義則(啓発広報委員)

工藤良一(安全推進委員)

青山シゲ子(啓発広報委員)

長岡新吾(就業開発委員長)

保坂敏道(啓発広報委員)

横山亮子(就業開発委員)

【監事】

工藤直樹(啓発広報委員)

腰山雅章(安全推進委員)

事務局職員

係長(業務担当) 佐々木 国博

嘱託職員 石塚 哲子

嘱託職員 飯坂 利理子

嘱託職員 平川 和彦

嘱託職員 石井 優成



新年を迎えて

能代市長 齊藤 滋 宣

あけましておめでとうございます。

能代市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より市政運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

人口減少、少子高齢化の進行が著しいこの地域においては、若者の流出による労働力不足等が、地域経済の縮小を招いており、これにいかん歯止めをかけるのが大きな課題となっております。

こうした中で、高齢者が豊富な知識と経験を活かし、生きがいを持って積極的に社会に参加できる環境を整備していくことは、地域活性化

につながる原動力であり、高齢者が幅広い分野で地域に貢献していくための受け皿として、シルバー人材センターはますます重要な役割を担っていくものと考えております。

市では昨年、これからのまちづくりを総合的・計画的に進めていくための指針となる「第2次能代市総合計画」を策定いたしました。

これに掲げる基本目標のひとつである「笑顔で人が輝くまち」を目指していくために、会員の皆さまが「働く」ことに生きがいを見いだし、健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、今後も様々な施策を展開してまいりたいと考えております。

結びに、今年1年が皆様にとってすばらしい飛躍の年となりますこと、あわせまして、能代市シルバー人材センターのますますのご発展と会員の皆様のご健勝を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

理事長 小林 正 之

新年明けましておめでとうございます。

会員並びに関係者の皆様には、つつがなく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年日本列島は、地震、台風などの様々な自然災害に苛まれ、いまだに大勢の方々が苦しく不自由な生活を強いられており、一日も早い復興を願うばかりです。

このような暗く悲しい出来事の多い中でも、夏の甲子園野球大会での金足農業の大活躍には、秋田県民ばかりか全国の人たちの心をも沸き立たせ、素晴らしい感動を味わいました。

シルバー人材センターの一年を振り返りますと、請負の実績については減少傾向にあります。派遣については順調に推移しております。就業中の重篤事故も通勤途上での交通事故等も無く、会員が健康で明るく、日々の仕事に意欲的に取り組んでくれた事が何よりのよろこびでした。

一方で大きな課題でありました会員の減少については、4月から12月までに32名の入会者が居り、いくらか減少に歯止めがかかり始めたようで、本当に嬉しく頼もしく感じております。

少しでも多くの市民の方たちにシルバー人材

センターを知っていただく為に、PRと入会勧誘のチラシの全戸配布をしました。一朝一夕に効果が出るとは考えておりませんが、引き続きねばり強く周知に力を注いでまいります。

又、昨年から実施しております年会費の夫婦割引や1月から3月までに入会する場合の割引制度については、これからも継続してまいります。

国と全国シルバー人材センター事業協会から強く要請されております女性会員の増強については、最重点課題として取り組んでまいります。女性の日線で物事を見極め、いかにシルバーに親しみを覚え、入会しやすい雰囲気を作り出すかが大事とのことから、女性を対象とした講習会を開催したところ、大好評を博しました。このような機会を一つの手がかりに女性会員の入会に努めてまいります。

平成最後の今年は亥年です。猪突猛進だとか、状況も踏まえず突っ込んで行くことから猪武者などの言葉もありますが、私たちシルバー人材センターは、これまで以上に仕事に打ち込み、働くは端を楽にすることだとの伝えごとくに「利用者こそ全て」、全ては市民のためにこそあるシルバーを忘れる事無く、定めた目標に向かってひたすら突き進んでまいりますので、会員や関係者の皆様には、これまで以上にお世話をかけると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年一年が皆様にとって、ご健勝でご多幸でありますよう、心よりお祈り申し上げます、新年のご

「シルバーの目」ボランティア活動

「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の10月3日、能代市文化会館敷地内での草刈りや草取り、植木の剪定、落ち葉の清掃作業に今年も赤沼老人クラブと合同で約80名が参加しました。9日には昨年7月にリニューアルオープンした道の駅「ふたついで」で約20名が参加し草刈り作業などを行いました。参加された皆さん、ご協力ありがとうございました。

また、7日には産業フェア会場で、14日にはきみまちマラソン会場で役員によるセンターのチラシ配布を行いました。



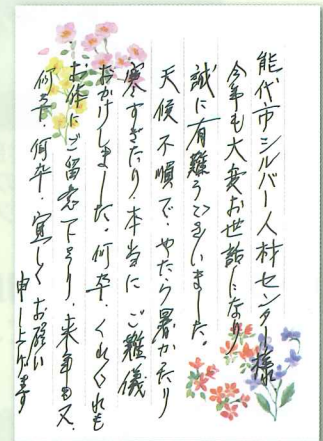
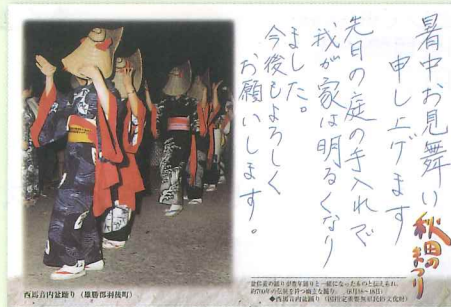
文化会館



道の駅ふたついで



◎お客様の希望に沿った「丁寧な仕事と接し方」は普及啓発につながります。センターに届いたハガキを紹介します。また、表紙の投句者、三上さんは長年シルバーを利用してくださっているお客様です。



冬期間の交通事故防止について

秋田県では転倒による事故が多くなっています。特に冬期間は路面凍結によるスリップなど、季節特有の「冬型事故」が多く発生します。歩行者は明るい服を心がけ（反射材着用）、「見た目の良さよりも滑らない靴」を履きましょう。

運転者は「時間・車間距離・心」にゆとりある安全運転を。

除雪会員の募集について

高齢者世帯等からの除雪依頼が増加し、除雪会員が不足しております。希望者は事務局まで連絡願います。

(54-4688)



配分金に係る確定申告について

「配分金」は所得税法上「雑所得」に区分されます。課税対象者になると思われる会員は、各自、申告が必要となります。センターでは平成30年分の「配分金支払証明書」を発行いたします。確定申告をする方は事務所に申し出てください。

女性会員の拡大に向けて

女性会員が全会員のわずか2割、70人弱の現在、掃除や草取りなどの依頼があっても断らざるを得ないケースも少なくありません。

そこで女性を対象とした講習会を市広報に掲載し、開催しました。より多くの方にシルバーを知っていただく機会となるよう、同好会や講習会への参加を今後も推進していきます。ご希望の講習会などがありましたら、ご提案ください。



○シニア・ビューティーアップ講座

～「いつものメイクにプラス5分で変わる」クイックビューティー～

普段使っている化粧品で、ブラシの使い方ひとつで明るい表情に変わりました。

「帰りに友達の家へ寄って行こう」という参加者も。



講師は美容部員として40年のキャリアのある佐藤修子氏
(二ツ井町在住)



もぐもぐタイムでのひと時

○クラフトビギナー講座

飯坂職員が講師となって、クラフトテープを使った小さなクリスマスプレゼントが完成しました。



細かな作業に夢中



完成！にっこり！

家事に、お孫さんの世話に毎日頑張っている貴女へ ～チョットだけ新しい風に触れてみませんか～

シルバー人材センターの説明会は毎月第1・3木曜日 午後1時30分からセンター会議室で行っています。

- ・シルバーパートナー（仮会員）制度…希望の仕事があった時点で入会
- ・年会費割引制度…夫婦割引（一人分が半額）、1・2月入会者は1,000円引き、3月入会者は免除となります

新会員紹介コーナー



渡邊 正幸 (1班)

① 将棋をやっています。まだまだ自分の満足できる域には達していません。今は、主にボランティアで、学校や家で小学生に教えております。

佐々木宮子 (11班)

② 6月末の広報のしろに入会案内が載っているのが目に止まり説明会に参加しました。作業の内容についても、詳しく理解できました。まだ体が動く、週1、2回は働けるんじゃないかと思う気持ちがありました。特技とてない自分にできることは何があるんだろうと考えた時、土と向き合っている時が一番生き生きできると思い草取りを希望し申し込みました。73才のスタートは、不安で一杯です。果たして与えられた時間にやれるだろうか等々。初めての作業は、センターさんの配慮でベテランの先輩会員さんとご一緒させて頂き、草取りの手順を親切に教えて下さいました。まだ9月に入会したばかりの新米ですが、自身が外へ一歩踏み出せたのもセンターさんのお陰です。これからもお客様に喜んで頂けるのを励みに頑張っていきたいです。



大和 涼子 (11班)

① 趣味とまではいかないと思いますが簡単な手編み、花いじりです。
② シルバー人材センターへの応募のきっかけは郵便受けのハガキからでした。お仕事は先輩方からのアドバイスなど、周りの皆さんに助けられとても感謝しています。これからは、気力、体力をアップさせて何かのお役に立てればと思っています。今後とも宜しくお願いします。

山谷 則芳 (11班)

① 野球と高校野球観戦。
② 初めて400歳野球の補助員で充実した日々を過ごせました。奉仕活動は、予想以上の会員の参加に感動。



佐藤 隆 (17班)

① ウオーキング
② 全く経験、知識のないまま庭木剪定班に入り、見るもの聞くものすべてに学ぶ点が多い3ヶ月でした。先輩諸氏の剪定レベルに少しでも近づければと思っています。

今年度加入した新会員の皆さんに、ご自身の〈①趣味・特技②会員としての抱負〉を伺いました。ご紹介いたします。(敬称略)

工藤 靖夫 (21班)

② 入会した時は、ちょうど草刈りの時期でいろいろな所を回りました。仕事はややきつい面もありますが、先輩会員からとてもよく指導してもらい、仕事を与えられたことでよりがんばろうと思いました。個人の家の仕事もあり、お客様の気持ちになり、シルバー会員の人は信用できると言われるよう、これからもがんばりたいです。

畠山 恒春 (21班)

① 読書(時代小説、歴史物) 海釣り 剣道2段
② 7月からの新会員です。暇を持てあまし、晴釣雨読の生活しております。この年で又仕事と思われませんが、体調を保つ為、健康を考えて仕事に従事したいと思えます。仕事は常に真面目に一生懸命がんばりたいと思えます。

原田 留蔵 (21班)

① ドライブ、釣り
② 健康を維持するため、トレッキング、筋肉トレーニングをしています。これから皆様のお役に立ちたいと思っています。会員の皆様、今後とも宜しくお願いします。

舩谷 雅弘 (21班)

② 9月下旬に入会しました舩谷です。夏は、野菜農家として、道の駅ふたついでおいしいスイートコーンを売っています。

上記以外の新会員

- 3班 阿世知隆子
- 4班 大久保 孝、佐々木智子
- 6班 畠山 進
- 8班 石井 政俊、山谷 重勝
- 9班 佐藤真紀子
- 11班 岩城あや子
- 13班 工藤るり子、鈴木 昭平、平川 慶一
- 16班 石山 隆、佐藤 アサ、野呂 正明
- 18班 斎藤 正和、佐々木正美、竹嶋 隆
- 19班 小林 弘治
- 21班 市川 武美、伊藤 信市、福司 照雄
茂呂 正人

職員紹介

平川 和彦

縁あって12月よりスタッフの一員に加わることになりました。会員の皆様のキラリと光る確かな仕事ぶり、ご依頼下さるお客様への安心とを、確実に繋ぐパイプ役となれるよう頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

石井 優成

12月より勤務しております。会員の皆様が生きがいを得られる、よりよい生活を実現するために一日も早く仕事を覚え、サポートしていければと思いますので、よろしく願い致します。



介護送迎運転講習 (高齢者活躍人材育成事業)



植木囲い講習会



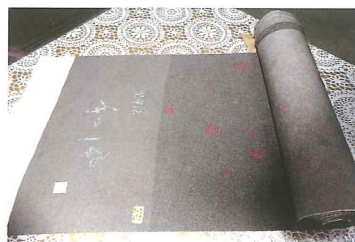
玄米袋詰め作業



宛名書き講習



県広報紙の仕分け作業をしています



洋裁
反物1反から
暖簾2組ができました



**編集
後記**

新年明けましておめでとうございます。
 “シルバーのしろ”の発行も記念すべき第50号となりました。今回から題字も新たに皆さまへお届けします。

さて、昨年の夏、秋田県はもちろん全国にも大旋風を起こした金足農業高等学校野球部の甲子園での活躍“準優勝”は実に見事でした。各メディアにも頻繁に取り上げられ、県内に与える経済効果は100億越えと報道されました。大学進学と言われていた吉田輝星投手もプロ志望に変更し、日本ハムファイターズに入団することになりました。これからの活躍を期待したいものです。

また、今年、天皇陛下のご退位に伴い“平成”の年号が変わる(5月1日)こととなります。カレンダー業界はじめ各方面で話題となっておりますが、果たして新しい年号は？

※皆様からのご意見、ご投稿をお待ちしております。

啓発広報委員 工藤直樹